

## 概要

- ◆ AIは、我が国の経済・社会の発展の基盤となる技術であり、今や国力を左右する技術として各国間で開発競争が激化している分野。安全保障にも直結する外交上の重要な課題。
- ◆ 日本は、「広島AIプロセス」の普及・拡大を通じ、「安全、安心で信頼できるAI」エコシステムの実現に向けて、国際的なA I ガバナンス構築の議論を主導。国内では、「A I 基本計画」を策定の上、各種政策を推進している。
- ◆ インドは、世界屈指のIT大国であり、グローバルな開発拠点として高い競争力を有する。「India AI Mission」を立ち上げ、①計算資源、②データ連携基盤、③基盤モデル開発、④アプリケーション開発、⑤人材育成、⑥スタートアップ支援、⑦安全で信頼できるAIの7つの柱を軸に包括的なAIEコシステムの構築を推進している。
- ◆ 基本的価値を共有し、IT分野に強みと豊富な人材を擁するインドとのAI協力は、経済安保上の重要性はもとより、成長著しいインドの新たな市場への日本企業の進出・展開を後押しし、インドの成長を日本経済に取り込む観点からも非常に重要。
- ◆ 上記課題認識から昨年8月に立ち上げた「日印AI協カイニシアティブ」の下、AIを活用した経済社会課題の解決策の共創や、AI分野における両国の自律性と競争力向上を通じ、双方にイノベーションと成長を実現することを目指す。
- ◆ 具体的な協力分野としては、①AIソリューションの共創、②制度整備・ガバナンス、③人材育成・能力構築、④基盤支援を念頭に、幅広い分野を対象とする。（詳細次項）

## 推進の枠組み

- ◆ 「日印AI戦略対話」（両国の関係省庁が幅広く参加）の定期的な開催を通じ、既存の取組を可視化し今後の重点分野を特定することで、具体的なアクションにつなげていく。

# 日印AI協カイニシアティブ（具体的な協力分野）

令和8（2026）年1月  
外務省南西アジア課

## ①AIソリューションの共創

- 都市交通データ連携基盤整備とユースケース創出（デリー等）（外務省/JICA）
- 森林分野におけるデータ連携基盤整備とユースケース創出（西ベンガル州等）（外務省/JICA）

## ②制度整備・ガバナンス

- GPAI（AIに関するグローバルパートナーシップ）の推進に向けた連携（総務省）
- AIガバナンスに関する国際的な協力、国際ルール形成・遵守に向けた連携（広島AIプロセス等）（総務省、外務省、内閣府）

## ③人材育成・能力構築

- 日印の研究機関、若手・トップAI研究者間の交流（インド若手科学頭脳循環プログラム（LOTUS）、先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）等を活用）（文科省/JST）
- 日印の国際共同研究（AI for Science、戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）、日米豪印の国際共同研究（AI-ENGAGE）等を活用）（文科省/JST）

## ④基盤支援

- マハラシュトラ州におけるデータセンター整備・運営等への支援（総務省/JICT）
- 大学・企業間の交流の場の設置、LLM（大規模言語モデル）開発での協力に向けた事業組成の後押し、信頼できるAIエコシステム実現に向けた協力（経産省）
- IndiaAI Mission 協力 - 電子・情報技術省（MeitY）のAI政策にかかる技術面・運用面での支援（AIデータ連携基盤（AIKosh）整備等）（外務省/JICA）
- テランガナ州におけるAI データ連携基盤整備協力（Telangana TGDeX）及び、スタートアップ支援（Telangana AI Rising Grand Challenge）（外務省/JICA）